



新商品『こそだちの家』 ~ニューノーマル時代の新たな住まいを提案 第三弾~

スターツコーポレーション株式会社

2021年10月05日

注文住宅を手掛けるスターツホーム株式会社（本社：東京都江戸川区、代表取締役社長：寺島将司）は、2021年9月より、子育て世代向けの住宅商品『こそだち(子育て)の家』の販売を開始致しました。本商品は、スターツホーム(株)が注文住宅建築で培ってきたノウハウと、ミキハウス子育て総研株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：藤田 洋）が住宅・マーケティングの専門家と子育て家族の生の声をまとめたノウハウのコラボレーションにより誕生した、子育てに優しい住まいです。



『こそだちの家』の特徴

Point.1 子どもの成長段階に合わせた商品開発

子育てを経験した家づくりのプロが、4つの成長段階に合わせた間取りやアイテムを開発。子どもが自然に正しい生活習慣を身に付け成長できるよう促します。

Point.2 フレキシブルに変えられる空間設計

子どもが小さいうちはリビングでほとんどの時間を過ごしますが、思春期に入るとプライベートな時間も大切になってきます。過ごし方の変化に合わせ、子ども部屋や収納などの空間を使い勝手よく変えられます。

Point.3 ニューノーマルの生活様式に対応

住空間を清潔に保つ間取りやアイテム、IoTの導入により家事の負担が軽減し、快適で安心な生活をサポート。子どもとともに過ごす時間を創出し、充実したおうち時間を生み出します。

『こそだちの家』は、子どもが自ら育っていく力に着目。その成長を後押しできる間取りや仕様にこだわり、ご家族ごとの要望に合わせた家づくりをご提案致します。また、日々の家事や育児の負担を軽減し、おうち時間の増えたニューノーマル時代の生活様式に合わせた間取りや設備のご提案も可能です。今後も、お客様のライフスタイルと時代の変化に合わせた住まいを提供してまいります。

『こそだちの家』概要

Point. 1 子どもの成長段階に合わせた商品開発

成長とともに広がっていく行動範囲や活動内容を考慮し、4つの成長段階に分類。成長を後押しし、自然と正しい生活習慣を身に付けられる工夫の設計。



< リビング空間提案の一例 >

4段階の成長時期におすすめの設計やアイテムをリビング、キッチン、玄関、サニタリーなど空間別にご提案。



Point. 2 成長に応じて可変できる空間設計

小さいうちはリビングで多くの時間を過ごしますが、思春期に入るとプライベートな時間も大切になってきます。子どもの過ごし方の変化に合わせ、子ども部屋や収納などの空間を使い勝手よく変えられる提案です。

< 提案事例 >

■ フレキシブルな子ども部屋



■ 片づけの習慣を養うキッズリビング収納

小さいうちは、着替えやおもちゃ、学用品をしまえる収納がリビングにあると、すっきりとした空間に。成長に合わせて自分専用の収納をつくることで、片づけの習慣付けにも役立ちます。



Point. 3 ニューノーマルの生活様式に対応

住空間を清潔に保つ間取りやアイテム、IoTの導入により、快適で安心な生活をサポート。子どもとともに過ごす時間を創出し、充実したおうち時間を生み出します。

<提案事例>

- ・汚れやウィルス、菌を家の中に持込まない動線設計 (A)
- ・テレワークやオンライン授業に対応したワークスペースの設置 (B)
- ・家族が家事に参加しやすい間取り・動線・収納計画
- ・からだを動かしてリフレッシュできるスペースの設置



■スマートフォンで見守り強化 家族みんながつながるIoT

先進の技術を身近な暮らしにとり入れて、子育てや家事の負担、不安を解消。毎日をもっと快適に。子どもたちの成長とともに、IoTで暮らしの「便利」と「安心」もアップデートしていきます。

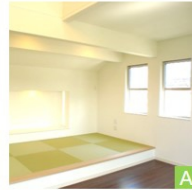
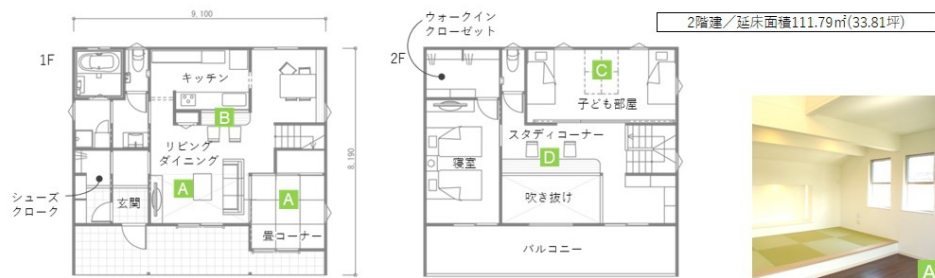


『こそだちの家』モデルプラン

注文住宅建築で培ってきた家づくりのノウハウに、ミキハウス子育て総研(株)が住宅・マーケティングの専門家と子育て家族の生の声をもとに定めた68項目にも及ぶ評価制度「[子育てにやさしい住まい](#)」を取り入れました。子育て家族が快適で安心・安全な暮らしをご提案致します。 ※対象プランの詳細はお問い合わせください。

■プラン例1 成長に合わせた学び空間

子どもの成長に合わせた空間を用意し、自然と寄り添える環境をつくります。



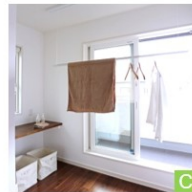
A <乳児期>
一時も目の離せない時期。常に目の届く場所で遊ばせます。畳コーナーはお昼寝に便利です。

B <幼少期>
カウンターに座り、キッチンにいるママの前でお絵描き。料理しながら子どもを見守れます。

C <小学生>
子ども部屋は仕切り、勉強はダイニング、スタディコーナーなど家族の気配が感じられる場所で。

D <中高生>
子ども部屋を仕切り、個の空間に。勉強は2階のスタディコーナーで。親子一緒に机に向かうことも。

■プラン例2 共働き夫婦に優しい家 家事に仕事に忙しいパパ・ママの家事動線を考えたプラン。



A 玄関からシューズクロックを通る家族だけの裏動線。帰ってきてすぐに手洗いができます。

B リビング入口の掲示板。学校行事の確認や家族の伝言がいつでも目に入り忘れません。

C 雨の日でも干せるランドリールーム。乾いた洗濯物は隣の寝室に運んで置めます。